



東北小だより

～学校教育目標～
なかよく元気な子
よく考える子
すすんで働く子

開校56年目

新座市北野3-1-1 Tel 048-471-2022
HP <https://e-tohoku-c-niiza.edumap.jp/>

令和6年度5月号
全児童数 818名



一日の始まりは、あいさつから

～ 笑顔いっぱい 歌声響く 東北小学校 ～

校長 齊藤 直之

薄紅色の花を咲かせた桜も散り、校庭の木々の緑がまぶしい季節となりました。

入学式からはや1ヶ月、125名の1年生もすっかり学校に慣れ、毎日、学校生活を満喫しています。

保護者の皆様におかれましては、ご多用の中、先日の授業参観・懇談会にご参加いただきありがとうございました。

新しい学年、新しい担任との出会いで張り切っている子供たちを目の当たりにし、一人一人が希望をもち、自分を磨き、もてる力を存分に発揮してほしいと願わずにはいられません。

毎朝、校門で登校してくる子供たちに「おはようございます」と声をかけています。その時の子供たちの対応に、大別して4つのパターンがあることに気づきました。「顔を上げ、大きな声であいさつをする子」「小さな声で、あいさつをする子」「声は聞こえないが、軽く会釈する子」「そっと通り過ぎる子」です。朝早く、まだ本調子でない子もいるかもしれませんが、「黙って通り過ぎられる」と少し寂しい気持ちになります。そして、「家で何かあったのかな?」「どこか体の具合でも悪いのかな?」と考えてしまいます。

そのような中、休日に筑波山に山登りに行ってきました。山登りですれ違う際には、「こんにちは」とあいさつをすることがマナーとなっています。山でのあいさつは一般的に下記のような効果や意味があると言われています。

①安全確認のため

万が一遭難した場合、あいさつした人が覚えていることもあるので、搜索のヒントになる可能性がある。

②警戒心を解くため

人が少ない山でソロ登山をすると、「人」に対しても警戒してしまいがちです。そこで、あいさつすることで不安がなくなる。

③情報共有のため

登山していると目的地まであとどれくらいなのだろう?道は間違っていないのだろうか?などと不安になることがある。

あいさつすると話しかけやすい状況になるため、軽い会話をすることで情報共有ができる。

このような理由があるそうですが、私は、ただ「あいさつするだけで気持ちいい」ここにつきると思います。私も登っている途中に何人もの登山客たちと行き交いましたが、みんな笑顔であいさつをしてくれました。山登りの途中で苦しいときに、行き交う人から「こんにちは」と声をかけられると、嬉しい気持ちになります。また、そのときに顔を上げると、相手の笑顔に癒やされるとともに、周りの景色の良さを再確認でき、また登ろうとする元気が出てきます。あいさつは、そのような不思議な力を持っています。

山のマナーやルールは、みんなが登山を快適かつ安全にするためのものです。また一方では、他の人への気遣いや自然を大事にする心を育むといったよさもあります。

自然に笑顔が出るということは、心が豊かだということです。だから、あいさつの大切さを子供たちに教えることは、学校教育の大きな柱であると考えます。今は、「あいさつ」に力を入れる時期ですが、ただ言葉にするだけでなく、満面の笑顔で、相手の目を見て「あいさつ」を交わせるようになって欲しいと考えています。

山登りに行かれる方は、行き交う人とあいさつを。きっと心が豊かになります。